



はぐくみ

心ゆたかにたくましく 笑顔であいさつ！

立花北小学校 校長室だより
令和7年6月18日発行 No.2
「あっぱれ！立花北の子どもたち」
発行者：佐野 正信

あっぱれ！立花北の子どもたち

閉会式での成績発表。私の席からは得点板が全く見えなかった
ので、子どもたちの表情に注目して見ていました。百の位と一の
位がめくられる度、子どもたちのドキドキ感が伝わってきます。
そしていよいよ、十の位をめくると勝ち負けが決まります。次の
瞬間、ガッカリと肩を落とす赤組の子どもたち…そして歓喜にわ
く白組の子どもたちの姿がそこにありました。応援合戦では赤組の歌と声、



気合いがすさまじかったので、その分負けた
悔しさは大きかったのではないのでしょうか。勝つ者あれば敗ける者あ
り、勝った喜びも負けた悔しさも、子どもたちにとってどれも大切な
経験であり、頑張った証し。胸を張ってほしいと思います。



保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、最初から最後まで、子どもたちに大きなご声援をお送りいただきありが
とうございました。開催にあたりましては、PTA 執行部の皆様や地域の皆様にも大変お世話になりました。また今年
は閉会式後の片づけを保護者の皆様にお手伝いいただき、大変助かりました。ありがとうございました。

体育大会で一番うれしかったこと

6月の朝会で、子どもたちにこんなお話をしました。

「立花北小の皆さん、おはようございます。今朝は、まず「体育大会のこと」についてお話します。校長先生が一番うれ
しかったこと、それは、徒競走やリレーで一1位にならなくても、最後まで力を抜かず、走り切る姿でした。中には転ん
でしまった人もいましたね。だれも転ぼうと思って転ぶ人はいません。本人はさぞ痛かっただろうし、びっくりしただろ
うし、悔しかっただろうと思うのです。でもその時、どこからともなく「がんばれ～」という声が聞こえてきました。そ
れも一人や二人ではありません。それらの声に後押しされるように立ち上がり、そして、自分の力でゴールまで走り切
ることができました。練習で休んでいた人に、そっと声をかけてくれる人もいました。そんな素敵な子どもたちがたくさんいる
こと、そのことが校長先生はとてうれしかったことで、立北の素晴らしいところでもあります。これからも、皆さんの
「ちょっとしたやさしさ」をどんどん膨らませていってほしいと思います。

昨日から急に暑くなってきました。大阪のある小学校では、昨日、休み時間の外遊びが中止になったそうです。立北で
は中止にしませんでした。教頭先生からは「水分補給のこと」「帽子を被ること」についての校内放送がありましたね。体
調がすぐれない人は、例えば友だちが遊びに行っても、自分は今日はやめておく…というように判断のできる子になっ
てほしいと思います。また、ゲームなどで夜ふかししたり、朝ごはんを食べずに来たりする人が学校でしんどくなっ
ています。急に暑くなるこの季節、自分の生活リズムをしっかりと整え、学校へやって来てほしいと思います。」こんなお話でした。